

第15回京都ヒストリカ国際映画祭



会 期：2024年1月23日(火)～28日(日)
 会 場：京都文化博物館 フィルムシアター／オンライン
 主 催：京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会
 (京都府／京都文化博物館／東映(株)京都撮影所／(株)松竹撮影所／(株)東映京都スタジオ／巖本金属(株)／
 (株)ディレクターズ・ユニブ／立命館大学／(株)Skeleton Crew Studio／(一社)京都ヒストリカ)
 共 催：KYOTO CMEX 実行委員会
 後 援：(一社)日本映画製作者連盟／(一社)外国映画輸入配給協会／(一社)日本映画テレビ技術協会
 対 象：一般
 公式サイト：https://historica-kyoto.com/

総来場者数(参加数)：1,529人

■開催内容

京都ヒストリカ国際映画祭、通称「HISTORICA」・「KHIFF」は、ジャンル映画祭として「歴史」をテーマにした国際映画祭である。今年度のシアター上映のスペシャルプログラムは、TVアニメ『ONE PIECE』ワノ国編(2話分)の上映と、シリーズディレクターの長峯達也氏とラインプロデューサーの赤堀哲嗣氏のトークを実施した。また映画のLOOKをテーマに、ジャパンプレミアの海外新作を4作品、国内外の旧作8作品を上映。昨年に引き続き、ヴェネチア国際映画祭・ポローニャ復元映画祭と連携したプログラムなど、全19作品を上映した。コロナ禍以降実現していなかった海外からのゲストについても、イタリア・ポーランドから6名のゲストが来場した。

新たな取り組みとして、週末の2日間で「ヒストリカお座敷」という15セッション30名のゲストが来場したトークイベントを企画した。またVR映画も、コロナ禍以降初めて上映し、引き続き好評を得ているYouTube Liveを活用したオンライントーク企画「夜のヒストリカ」も継続して実施した。

■2023年度の新規取り組みとその成果・特色など

「映画上映の合間で、トークを聞く」、「ゲストトークの合間に、映画をみる」というようなこれまでの「映画を見て帰る」というお客様のアクションを変えようと、上映とトークイベントが平行で進行する形で、「ヒストリカお座敷」という和室でのイベントを実施した。映画だけでなく、映画に隣接するジャンルのアニメ、ゲームなど多彩なテーマでトークイベントを実施し、異ジャンルのゲストの交流や新たな層のお客様の参加など、映画祭に新しい展開のきっかけを作ることができた。

